

気持ちを一つに闘った！ 高総体 水球 フェンシング 団体優勝 ほか好成績多数！

六月三日に諫早市にある県立総合運動公園陸上競技場で行われた第六十八回長崎県高等学校総合体育大会開会式。梅雨入り前の暑い長候の中、県下の高校の選手団が行進。その足音に大会における一所懸命な想いが伝わってきました。

さんさんと照りつける太陽の下、行われた開会式。一条乱れぬマーチング、行進の先頭を華やかに飾ったバントトワリング。応援席のあちらこちらから聞こえてくる各高校の応援団の声。そして力いっぱい手を振り、進行する各高校の選手団。ハンドポール・卓球・サッカー・空手の選手が行進に参加。タフネスを披露しました。開会式直後、旗手の山口拓真君(A3・柔道部)に感想を聞く。「旗手という大任に緊張した。長工の代表



表彰を受けるI3徳久さん▲

六月四日に長崎サンセットマリナで行われたヨット競技。雨、風の悪天候の中での競技となりました。今年も女子団体は長工のみ。男子に混じっての個人戦での戦いとなり、予定より大きく遅れた試合でしたが無事に始まり、長崎工業ヨット部も男子に引けを取り、走りつづりに見事優勝を勝ち取りました。高総体後ヨット部のキヤプテンJ3水木さんへ話を聞くと、「男子と張り合えてよかった。九州大会に繋がった試合になりました。三嶋先生は、「しっかりと男子よりも前に出ていこう。風が強くコンディションは厳しかったが男子に勝って良かった」と喜びを話していただきました。

その原因は我慢強さの不足です。先生がものづくりの選手に激励の言葉を贈られていました。その中でイチロー選手の話が印象的でした。イチロー選手は「野球を良く知らない人でも知らない者はいない。スポーツも知らない人はいます。名前も知らない人はいます。その中の一に校長先生も話されていた。準備とないのはいくらでも用意できると。そのために考え

県大会—個人優勝 九州大会—総合4位 インターハイ出場決定！

「嬉しそうに答えてくださいました。ヨットは六月十日と二日み鹿儿島県鹿儿島市平川ヨットハウスで行われる九州大会の成績でインターハイ出場が決まりました。水木さんは「後輩を育てたいと頑張りたい」と決意の言葉を話していました。三嶋先生は「二か月後の全国大会の舞台をめざして、落ちてはダメです。話を聞いて頑張り、全力を尽くしてください」と話していただきました。

果はFJ級で二位の好成绩となった。嬉しそうに答えてくださいました。ヨットは六月十日と二日み鹿儿島県鹿儿島市平川ヨットハウスで行われる九州大会の成績でインターハイ出場が決まりました。水木さんは「後輩を育てたいと頑張りたい」と決意の言葉を話していました。三嶋先生は「二か月後の全国大会の舞台をめざして、落ちてはダメです。話を聞いて頑張り、全力を尽くしてください」と話していただきました。

生徒の皆さんにお礼を言いたい」とのこと。また、顧問の坂本先生は「ほんとによく頑張った。もう一つ上を目指さなければならない。意思で決断し、自らの意思で行動することが必要」と話されました。

え得るすべてのことをこなし、「たくましく」という言葉が高校卒業後、私は就職したいと思っています。今は二年生ですが、やる気オフのままではいきなり職を決めるのは、大きな困難にぶつかります。そのとき、「だつて、なにを排除して、いかに材料を増やせばいいか」と話されています。失敗しても、強くなりたい。自分自身のこと、自分の将来について、どうするか。皆さんは、どう

瞬間の攻防



六月四、五日、長工が会場で行われたフェンシング競技。会場は厳かであり、熱気も伝わってきた。結果は男子団体は三年ぶりに全勝。エペ、サーブレ、男子フルレは表彰台を独占。エペ、サーブレは長工個人でも好成績を残した。キャプテンのD3富岡

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

フェンシング男子団体優勝！ すべてにおいて好成績を収める

また、一人ひとりの努力と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

水球 接戦を制して 五連覇達成！

長崎県立西高等学校の屋外プールで行われた水球競技。会場には野球部をはじめ多くの応援生が姿があり、試合は前半、先制点を取られ、西高に押され、試合が進むにつれ、自分たちが進むにつれ、流れを切り戻し、逆転。一点差で長工の勝利を、一点取り返され、試合終了。最後はペナルティースローで競り勝ち、五連覇達成にキャプテンのE3並松君に今の気持ちを聞くと、「五連覇できるとして、完成度を高め、後輩たちに六連覇目指して頑張ってください。また、多くの応援が、先生、家族

屋外プールで行われた水球競技。会場には野球部をはじめ多くの応援生が姿があり、試合は前半、先制点を取られ、西高に押され、試合が進むにつれ、自分たちが進むにつれ、流れを切り戻し、逆転。一点差で長工の勝利を、一点取り返され、試合終了。最後はペナルティースローで競り勝ち、五連覇達成にキャプテンのE3並松君に今の気持ちを聞くと、「五連覇できるとして、完成度を高め、後輩たちに六連覇目指して頑張ってください。また、多くの応援が、先生、家族

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

生徒の皆さんにお礼を言いたい」とのこと。また、顧問の坂本先生は「ほんとによく頑張った。もう一つ上を目指さなければならない。意思で決断し、自らの意思で行動することが必要」と話されました。

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」



「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

総合成績で4位となり、インターハイへの出場権を獲得しました。中甸に和歌山県で開催されるインターハイでも、この結果を残して、この全力を以て頑張りてください。



月日が経つのは早い。私たちがこめて温めていたネタたちは、目の目の底奥深くへと沈んでしまっていました。ジーンズ、そんな私に助け舟があるのを「たまたま」です。商店街や町中のいたることろに短冊のかかった笹竹を見かけました。皆さんは、どんな願いをしましたか。私が願うことは「一日、青春日記のネタが思い浮かびますように！」とマイカメラで空を見渡しましたが、天に広がるのは雲の川。そんな、私に救いは無いのですか。話は変わりますが、参議院選挙の期日前投票が行っていました。人生初の選挙。投票所で恥ずかしい思いをし、初めに「みなさんの応援と、話したい。九州大会の話を聞かせてほしい。九州大会が、この調子が、頑張りたい。九州大会、全国大会へ向けて、活躍を期待している。」

ベスト4

競泳
男子ソフトテニス
ハンドボール

競泳

自己ベストを 重ねて総合四位

六月四日から五日にかけて長崎市民総合プールで行われた水泳の競泳部門。長工生もさまざまな種目に出場。なかでもD3伊野拳太郎君は百メートル自由形で一位、五十メートル自由形で二位の成績を残した。D2前田彪君は百メートルバタフライ、二百メートルバタフライで二位の好成績を収めました。



狙いを定めて打ち返す

男子ソフトテニス

悔い残るも 団体戦三位

雨で一日遅れとなった男子ソフトテニス競技。会場はかきどまり総合陸上運動公園。会場はじめじめと吹き飛ばすような熱気がありました。

一回戦、二回戦、三回戦は、高校と佐世保南高校との試合では、それぞれベスト4を占めた。翌日のベスト4を占めた高原工業との試合は、1対1にもつれこみ、最後は島田・前田ペアが勝利を収めた。試合後にキャプテンのA3島田彩生君に話を聞くと、「明日も勝ちます」と意気込みを語ってくれました。



泳げ！誰よりも速く

高総体の感想をキャプテンのD3平野倫太郎君に聞くと、「リレーで三位に入ることができて良かった」と話し、何よりみんなで力を合わせて勝ちとったリレーの成績を挙げて、笑顔で答えてくれました。「多くの人が自己ベストを出していた。九州大会ではもっと上を目指したい」と次への想いも込めて話してくれました。



高く、より高く！

ベスト8

男子バレーボール
バスケットボール
女子ソフトテニス
ラグビー
男子バドミントン

多くのペアが初戦、二回戦と勝ち進み、最終的に野田・畑本ペアが5位に入賞し、インターハイ出場権を獲得しました。この結果に対し、A2野田尊君は「インターハイ出場という目標を達成できて嬉しい」と話し、C2畑本理士君は「一勝

でも多く取りたいと思います」と話し、顧問の大槻先生は「団体戦は目標までいけたが、優勝まであと一歩だった。個人は、悔いの残る内容だったが、悔いの残る内容が残念ながら優勝には至らなかった団体戦。インターハイ個人戦で野田・畑本ペアがここまでいけるのか注目です。活躍を期待します。」



渾身のシュート！

ハンドボール

一番最高な試合

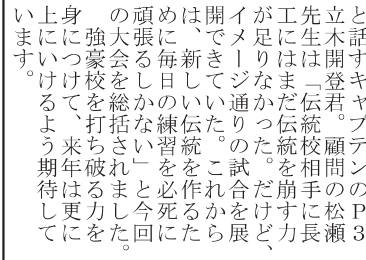
六月四日から六日にかけて諫早市中央体育館で行われたハンドボール競技。初戦は青雲高校に二十六対七で勝利。試合後にキャプテンのC3黒川晶君に今の気持ちを聞くと、「一勝したが、調子はよくなかった。次の試合は積極的にシュートをきめていきたい」と答えてくれました。二回戦は、長崎南高校。二十三対十六で勝利。順調に勝ち星をあけていきました。

話されていました。高総体を終えて、黒川君は「今までやってきた中で一番の上を目指した。自分たちで考えプレーし目標に向かって突き進んでいくのがいいのでチーム一丸となってそこを目指してほしい」と話し、顧問の大槻先生は、「最後の試合、みんなが一つになって頑張っていた。今まで一番最高でいい試合は、コート外の生活が大事」と話してくださいました。

男子バレーボール

大活躍！

瓊浦高校体育館で行われた西海学園との試合。ストリートで二セットを決め、順調に一回戦を突破しました。続いて、長与町民体育館で佐世保工業との二回戦。一セット目を先取されましたが、そこから見事に巻き返し、二セット目を二五対一六で勝利。応援の一般生徒に試合の感想を聞いてみると、「一セット目をとられて不安だったが、そのあとの切り替えしができる。最後まで長工らしく元気にできてよかった」と嬉しそうに話してくれました。準々決勝は県立総合体育館で大村工業と対戦。優勝候補相手の試合に新開部全員で県立総合体育館へ。会場は、たくさんの人であふれ、長工の野球部や一般生徒も応援に



新しい伝統を

佐世保西高校体育館で行われたバスケットボール競技。準々決勝の対戦相手は、仲間の熱い声援の中、フィールド内で激しい攻防を繰り広げていた長工。しかし、最後は長崎西に七〇対八六という僅差で敗退。結果

ベスト8となりました。一、二年生は西高を倒せるように精一杯頑張った。と話すキャプテンのP3立木開登君。顧問の松瀬先生は「伝統を崩す力が足りなかった。ただ、イメージ通りの試合を展開できていた。これから毎日の練習を必死に頑張るしかない」と今回の大会を総括された。今年度は更に強豪校を打ち破る力をつけて、来年は更に上を目指して期待しています。

新聞部員海に出る

～高総体ヨット競技取材の一日～

高総体ヨット競技当日のヨット部顧問の三嶋先生のご好意により、報道用船に乗って間近で取材が可能になった。二年生部員の私。せつかく近くで撮影できるのだから、写真もよりレベルの高いライフジャケツを着用し、海へ。



完全防具でいざ行かん！

雨風は強くなるのは、体は冷えてくるのは、とても過酷な状態。カメラが濡れぬように必死にタオルで守る。次に、タオカの水にやられ、びしょ濡れ。君のことは忘れてない。そんな中、撮影していた。撮影に苦戦していた。私に、乗り合わせていた長崎新聞の記者の方から撮影のノウハウを教えてくださいました。おかげで、だんだん写真の精度が上がっていき、良い感じの写真を撮れました。写真が撮れたヨット競技は、とても迫力があって気分が高揚しました。ふだん、なかなかできないような体験ができる。本当に良かったです。ヨットに乗せていただき、本当にありがとうございました。来年も機会があれば是非よろしくお願いいたします。(塚根)

女子ソフトテニス

創部初の快挙！

六月五日からかきどまり総合陸上運動公園にて行われた女子ソフトテニス競技。この日は、どんよりとした曇り空で比較的動きやすい一日でした。長工女子ソフトテニス部の出場。試合前に調子を伺うと、「良い感じですよ」と話したソフトテニス部。結果は、ベスト8。一回戦は、聖和女子高校に三対〇で勝利。二回戦は、長崎東高校に二対一で勝利。三回戦、シード校である島原高校を二対〇で決勝の長崎商業戦に〇対二で敗退。この結果に対し、キャプテンのA3里京佳さん

は「ベスト8に入れた嬉しいです」と笑顔で話しました。応援に来ていた女子ソフトテニス部OBの姉川さんに話を聞くと、「ベスト8おめでとう！努力の結果ですね」と嬉しそうに話していました。また、顧問の大槻先生は「本当に頑張った」と、この結果に満足そうな表情で話しました。



素早いドリブル

ラグビー 男子バドミントンは 3面に！

男子バドミントン ベスト4届かず

一、二、三日目の会場は三菱重工民体育館、最終日は長崎市民体育館で試合が行われました。会場では、閉め切られた体育館にシャトルを打ち合う小気味のよい音が響き渡っていました。

一日目は、気温が低く場内の暑さもそれほど感じませんでしたが、二日目、三日目になると、二日目の暑さが上昇していき蒸し暑さの中で試合となりました。



▼見よ！この跳躍力

毎試合で選手の素早いフットワーク、相手の隙をついての激しいスマッシュが繰り返り出されています。順調に勝ち進んでいたバドミントン部ですが、佐世保実業高校に惜敗し、結果はベスト8となりました。男子バドミントン部キャプテンのD3楠本浩志さんは「佐世保実業に敗れ、ベスト4を逃して悔しい。もっと根強い練習が必要だと期待します」と話して帰りました。顧問の村岡先生は、「目標のベスト4には届かなかったけれど、持っている力は出してくれただろう」と話してくれました。

この悔しさを糧に、来年、さらに上位に駒を進める活躍を期待しています。

ラグビー

長崎市総合運動公園からラグビー競技。小雨の中、選手たちは汗を流しながら練習に励んでいました。

長崎地区 女子バレーボール 最後は笑顔で

長崎北高校体育館で行われた女子バレーボール競技。館内は応援生徒の歓声や選手の気合いで熱く盛り上がりつつありました。第一試合、向陽高校との試合。格上相手にも諦めることなく、食らいついで立ち向かっていく姿に応援も力強くなっていました。結果、勝つことは出来ませんでした。試合後の選手はやりきった表情で笑顔を見せていました。応援に来ていたカリー先生に話を聞くと、「一緒に練習できてと



も楽しかった。試合を見ていて誇りに思えた。皆さんお疲れ様！」と笑顔で話してくれました。また、顧問の林先生は「強いチーム相手に、止めるときにはしっかりと、出てきたときにはしっかりと、勝つてほしい」と話していました。カリー先生は「今までで一番いい試合が出来た。もう一つ上を目指すには練習

走り勝つ！

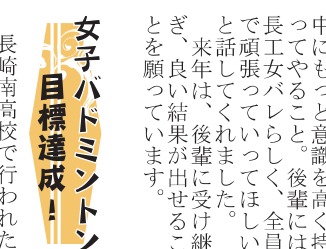


し声を出してほしかった。とにかく試合の入りでポイントを獲得していきたいと思う」と仰っていました。勝つたというのに厳しい表情。

そして挑んだ海星との試合。前半は海星の苦烈な攻めに押され、一点も取ることができずに終了してしまいました。後半は前半とは一転して互角の勝負の様相。長工も意地のトライを決め、抑えられました。しかし、形勢逆転とはならず結果完敗でした。

試合を観戦されていたOBの方に「みんな頑張っていたが練習中の試合に出ている部分から試合に向けた練習を心掛けてもらいたい」と話してくれました。この大会に向けて取り組んでいきます。この結果を次に繋げて活躍してほしいと思います。

中にもっと意識を高く持つてやること。後輩には長工女バレーらしく、全員で頑張ってくれたい」と話してくれました。来年は、後輩に受け継ぎ、良い結果を出せることを願っています。



長崎南高校で行われたバドミントン女子の試合。会場はたくさんの人で溢れていました。一回戦の相手は佐世保南。両者の相手が互いに、3対0で勝利を決めました。試合を伺うと「三年生は最後の試合で、一つでも多勝つてほしい」と話していました。また、応援の生徒も「よく動いている。

中地区 サッカー 競り合いに散る

六月五日に島原市営平成町人工芝グラウンドで行われたサッカー競技。当日は小雨が降るなか、保護者や高校生などがたくさん会場を埋め、その中に長工野球部の応援団の姿もありました。

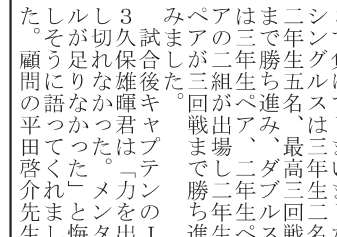
本校サッカー部はシールド権を獲得しており、二回戦からの出場。相手川棚高校との戦いを制して力のある長崎日大高校。序盤は双方ともなかなか攻め切れず、一進一退の攻防を繰り返していましたが、石村先生は「日常(意識)を変え、一歩のところにまで行くのもので、後半戦、コーナーキックから一瞬の隙を突かれ得点を決められましたが、その後、失点を取り戻すべく奮闘するもそのゴールが決定打となり1対0で負けました。選

審判に挑む一瞬一瞬、目を凝らして。今年の高総体の試合にスケルトンボウルの男子バレーとして参加したC3北村瑠奈さん。試合後にインタビューして感想などを聞いてみました。



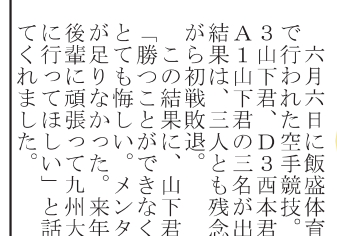
▲華麗なドリブル！

六月四日から六日の三日間大村市体育文化センターで行われた卓球競技。学校対抗戦では一回戦竜崎高校と対戦しました。ダブルスはどちらも良い試合でしたが結果は0対3で負けました。シングルスは三年生二名、二年生五名、最高三回戦まで勝ち進み、ダブルスは三年生ペア、ダブルスペアが三回戦まで勝ち進みました。試合後キャプテンのJ3久保雄暉君は「力を出し切れなかった。メンタルが足りなかった」と悔しそうに話してくれました。顧問の平田啓介先生



▲華麗なドリブル！

六月四日から七日にかけて県立総合運動公園陸上競技場で行われた陸上競技。一日目は雨が降るなか、チームや保護者がたくさん応援に訪れ、一糸乱れぬ姿で選手達を応援する他校の応援団。そして、悪天候ながら



▲華麗なドリブル！

六月六日に飯盛体育館で行われた空手競技。A3山下君、D3西本君、A1山下君の三名が出場。結果は、三人とも残念ながら初戦敗退。この結果が、勝つことができなくて悔しい。メンタルが足りなかった。来年は後輩に頑張ってもらいたい」と話して帰りました。

卓球
力出し切れず

六月四日から六日の三日間大村市体育文化センターで行われた卓球競技。学校対抗戦では一回戦竜崎高校と対戦しました。ダブルスはどちらも良い試合でしたが結果は0対3で負けました。シングルスは三年生二名、二年生五名、最高三回戦まで勝ち進み、ダブルスは三年生ペア、ダブルスペアが三回戦まで勝ち進みました。試合後キャプテンのJ3久保雄暉君は「力を出し切れなかった。メンタルが足りなかった」と悔しそうに話してくれました。顧問の平田啓介先生

陸上
リレー自己新記録更新

六月四日から七日にかけて県立総合運動公園陸上競技場で行われた陸上競技。一日目は雨が降るなか、チームや保護者がたくさん応援に訪れ、一糸乱れぬ姿で選手達を応援する他校の応援団。そして、悪天候ながら

空手
悔しさ残る

六月六日に飯盛体育館で行われた空手競技。A3山下君、D3西本君、A1山下君の三名が出場。結果は、三人とも残念ながら初戦敗退。この結果が、勝つことができなくて悔しい。メンタルが足りなかった。来年は後輩に頑張ってもらいたい」と話して帰りました。

サッカー
競り合いに散る

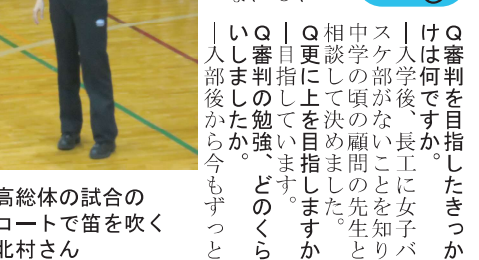
六月五日に島原市営平成町人工芝グラウンドで行われたサッカー競技。当日は小雨が降るなか、保護者や高校生などがたくさん会場を埋め、その中に長工野球部の応援団の姿もありました。



▲打ち負けない...

も走る選手の姿もありました。結果はそれぞれベストはつくれたものの、8位入賞には届かず。結果にキャプテンのD3川口隆生君は「ほんのどがベスト入りして、リレーでもベストを上回る記録だった。来年に期待します」と話しました。一方、顧問の菅崎先生は「弱い。弱すぎる」と厳しいお言葉を。今回の陸上競技は競技場の状態が悪く、こけてしまう選手もいました。それでも競技に挑む選手姿が伝わってきました。来年は、菅崎先生の指導の下、活躍する事を期待しています。

審判に挑む一瞬一瞬、目を凝らして。今年の高総体の試合にスケルトンボウルの男子バレーとして参加したC3北村瑠奈さん。試合後にインタビューして感想などを聞いてみました。



▲高総体の試合のコートで笛を吹く北村さん

Q 審判を目指したきっかけは何ですか。
A 入学後、長工に女子バスケ部がないことを知り、中学の頃の顧問の先生と相談して決めました。
Q 更に上を目指しますか。
A 目指しています。
Q 審判の勉強、どのくらいしましたか。
A 入部後から今もずっとQ これからの目標を。
A 上がれるところまで審判のランクをあげます。
笑顔でインタビューに答えてくれた北村さん。試合中に審判として笛を吹く姿は少々緊張の色も伺えましたが、とても堂々とした様子でした。これからのさらなる活躍を期待しています。

佐世保地区

剣道

無念の敗退
佐世保市東部スポーツ広場体育館で行われた剣道競技。応援は拍手のみという剣道競技。静かな中で試合は進んでいました。一試合目対馬高校に6対0で敗北。諫早東高校に7対1で勝利。結果予選敗退となりました。



▲向かい合って…

個人戦も惜敗に終わりました。キャプテンのD3松川陸斗君は「試合には負け

行かないとわからない

新聞部員の

高総体、この一枚

◇今年の高総体も県下各地取材に駆け回った新聞部。数多くの写真を撮りました。さまざまな会場の印象に残った一枚を部員それぞれが断ってセレクト。高総体の雰囲気をごっそり！

会場の一体感

長与町民体育館で行われた男子バレーボール部



▲得点取得の喜びはみんなで
試合の一体感が感じられる一枚です。得点が入る度に選手も観客も一緒になって喜んでいて姿が印象に残りました。顧問の江川先生も「応援の力に後押しをして頂いたので」と言われたことが、選手と観客と一緒に観客

私の「この一枚」は、高総体開会式で、中地区の高校三校が合同で披露したマーチングの演技です。三校合同のマーチングだったにも関わらず、息の合った一糸乱れぬ演技をしていました。演技終了では、上から見る綺麗な文字や図形を人の配置で表現していました。ここでは、演技を完成させるには、多くの練習時間・練習量だけでなく、

一糸乱れぬすごさ

って会場の雰囲気を作り上げていくのが良いなと思えました。応援は選手たちの大きな力になるということを感じられる試合でした。(平松)

たけど皆全力を出して頑張っていた。日々の努力を怠らず、どんな練習にも屈せず頑張ってきた。「選手は皆頑張りてきた少精鋭頭張っていました。」「と話されていました。

今年の高総体、振り返ってみたい。いかげつな調整が上手くできなかったところもありました。皆さん、ご協力ありがとうございました。



▲演奏+華麗な演技

メンパーとの信頼関係も重要となったと思う。また、堂々とした演技は私たちが、きたる体育祭や文化祭にむけて、クラスや学科の団結力を高めていきたいですね。(上杉)

ラグビー界の
ツインタワー

照りつける日差しが選手、観客の肌をじりじり

高総体 この一枚 (その1)

高総体編

てぶ互生!!!

パート②
～メガシャキで生まれ変わる～

おはよう！
おはよう！
いつも元気がないMくん
「がーん」いいですか(一年生)
あーんがこ
この黒いな
このがーん…
何じゃこりゃ
※メガシャキで生まれ変わる
なにかあったのかな
元気やね
※一年生、よくできました。

ロボコン道

今年の難所

今年のルールで一番の難所は傾斜四五度の坂。この傾斜を車で上れたらすごいことらしい。そんなことも知らずに何も対策考えずに作って実験の結果は言わずもがな上れませんか。しかし、不幸中の幸い。別のでも使える機構をここれでも可能。これがクリアでき

▲45度。どう攻略していく？

後編

高総体から一ヶ月以上。毎日遅くまで残り、編集の日は競技場所を駆け巡り、写真を撮ったり、インタビューをしたり、遅ればせながらですが、何とか終業式まで発行でき、お楽しみ！

(古賀 凌平)

ラグビー部員の立派な姿

新聞部 O3日記

「経験は力！」

第65回 卒業生 (2013年3月卒)

感じる。そんな私から在校生諸君へ少々助言を。常に意識して欲しいことは就職を目指す人も最終的には社会に出るということ。在学生中はその前のことに一生懸命で、その先が見えない。懸念は、よくよく考えると人は社会に出るから。この間は社会に出るための準備期間。社会に出て自分の武器になるもの。そして高総体経験です。そして高総体経験で、必ず役に立つものがあります。要するに「高校生活」です。全力で楽しむこと。まず勉強に部活に行事、まあ恋愛とかも。一番もつけない。何事も何となく。何事にも興味を持っていく。その踏み出す力。必ず自分の力になり。遅ればせながらですが、何とか終業式まで発行でき、お楽しみ！

(古賀 凌平)

と焦がす灼熱のフィードバックに聳え立つ二つの人間タワー。その姿はまさに選りあう達の雄々しい姿の概、飛び交う声援。それら全て、観客達の心に刻み込まれるようでした。上、下どちらかのバランスが崩れると転落してしまいます。お互いの信頼度が高いチームが制する。三メートル強の高さでパスを受け取り、最適なコースにパスをする。屈強な肉体と精神を持ち合わせ、それらからこそできることだと思いました。静さを垣間見ることができ、印象に残った一枚です。(岡本)

長工にも応援部を！
この一枚は、高総体開会式の時、観客席で応援していたある高校の応援団員です。会場には他にもチアリーダーのいる応援団など幾つもの高校の応援団の姿がありました。なかでもこの応援団員が印象に残ったのは、長工に重なる部分があったから。男子だけで構成されたその応援は、力強く、きつくて腕を振り続ける姿にタフさを感じました。今年も長工とは高総体で野球部が主体となり、長工らしい応援をしていました。その応援も、学ランを着て、決まった動作を全員でする

全身全霊で応援！

(薄田)

一年生な ☆日々

高校に入ってから、はや二ヶ月。最近では、湿度と気温のせい、じめじめと温かい日が続く。そんな中で、一年生の新聞部員が一人増えたこと。このコーナーも交代制となりました。なんだか嬉しい。先日の高総体、電気系の生徒にとっては、電気工事士の試験の追い込みと試験前でした。

別のプリント。そして入学式の翌日から始まった早朝補習。初め頃は、目も覚め、使い方もわからなかった。覚めるまで、暗記できず、なかなか暗記できず、落ち込むこともありました。振り返ると、暗記が、正解率が上がってきた。当日はあまり緊張せず、試験に挑むことができました。そんなことがあり、三日目と四日目が応援に行くと、出来ません。見に行っても、一生懸命に試合を、他の部員は大きな声で応援をしてくれて、私も格好良かったです。次は、実技試験です。筆記を合格した努力を無駄にしないように、日々の補習を頑張っていました。

(上杉)